

社会福祉法人 俱知安町社会福祉協議会広報誌

社協の窓

「この広報は、赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています」

222号

2025年10月

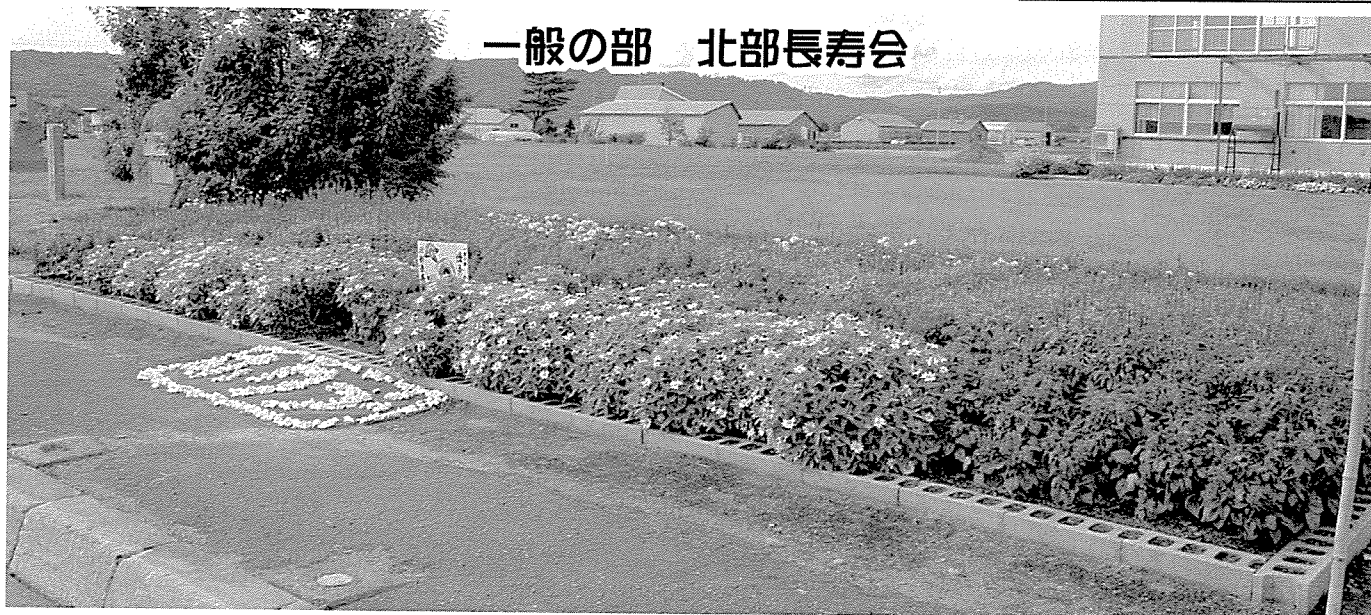
事務局 ☎044-0003

俱知安町北3条東4丁目

保健福祉会館内 ☎22-4150

印刷 (有)旭太陽堂印刷

一般の部 北部長寿会



＊ 第35回花壇コンクール優秀賞 ＊



公共の部 西小学校

目次

P 2…第35回花壇コンクール審査結果

P 3…赤い羽根共同募金について

P 4…道新ボランティア奨励賞を受賞【ちょぼら六郷除雪隊】/ 俱小5年生ボッチャ体験交流

P 5…賑わいを見せる夜カフェ【夜カフェ】

オリジナルカレーで暑さに負けない夏【いただきますの会】

P 6…道警本部庁舎視察【防犯研修旅行】/ 夏を感じながら【身障研修旅行】

P 7…社会福祉協議会会員募集について

P 8…道社協職員研究協議会実践報告

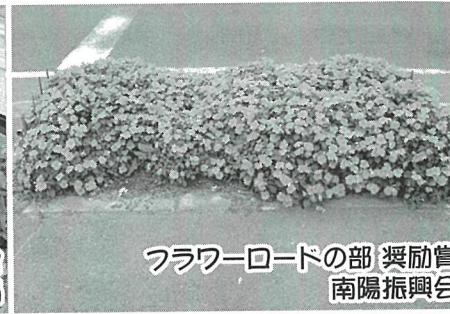
第35回花壇コンクール審査結果

俱知安町花と緑のまちづくり推進委員会では、毎年10月中旬から希望される町内会や各種団体を対象に花苗の斡旋を行った後翌年6月上旬に配布を行い、その花苗を用いた花壇で俱知安の町を華やかに彩っていただいた事に感謝しております。

今年は雨が少なく暑い日が続き、花壇の手入れも大変かと思われましたが、そのような状況の中でも素晴らしい花壇が多く、入賞数が合計15団体になりました。

優秀賞の2団体につきましては本誌表紙で、その他13団体は、こちらでご紹介させていただきます。

なお、新たに町内会や各種団体（企業も含む）で花壇の作成を対象とした花苗の有償斡旋（ペコニア・インパチェンス・マリーゴールド・サルビア・ジニア ※変更の可能性も有）を希望される場合は、11月末までに事務局（TEL22-4150 担当：小宮）までお気軽にご連絡下さい。



今年度も心温まるご協力をお願いします～赤い羽根共同募金～

10月1日から全国一斉に79回目の赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

赤い羽根共同募金は「寄付をする人も募る人もボランティア」で、住民相互のたすけあいを基本とし、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを目指す多様な活動を財政面から支援しています。

「じぶんの町を良くするしくみ」である共同募金運動へのご協力をお願いいたします。

令和7年度 募金目標額 3,204,000円

この目標額は、令和8年度に計画を予定している民間による団体の社会福祉活動に必要と予想される金額をもとに設定しています。

・街頭募金（街頭での呼びかけによる募金）	120,000円
・職場募金（企業や団体で従業員を対象とした募金）	80,000円
・各戸募金（町内会を対象とした募金）	300,000円
・法人募金（企業の社会貢献による募金）	120,000円
・大口募金（各家庭を対象とした募金）	1,344,000円
・篤志募金（篤志の方による善意の募金）	10,000円
・学童募金（学校の児童・生徒を対象とした募金）	50,000円
・興行募金（各種イベントを対象とした募金）	10,000円
・その他（ピンバッジ等による募金）	170,000円
・歳末たすけあい募金（企業や団体等を対象とした募金）	1,000,000円
（歳末たすけあい募金は、12月1日から12月31日まで）	

なお、令和5年度に皆さまから寄せられました募金につきましては、令和6年度に下記の配分先での事業の助成を行いました。

配分先：社会福祉法人俱知安町社会福祉協議会

1. 給食サービス事業 事業精算額：2,561,130円 助成額：50,000円

障がいのある方や高齢者の一人暮らし及び夫婦世帯を対象として、火曜日と金曜日の週2回、お弁当を配食しました。

2. ボランティア指定校活動育成事業 事業精算額：218,640円 助成額：90,000円

町内の小学校3校、中学校1校、高等学校1校の児童・生徒を対象とし、家庭及び地域社会の啓発を図りました。（小学校2校、高等学校1校は休止）

3. 地域子ども会育成事業 事業精算額：250,000円 助成額：50,000円

子ども会リーダーの育成、地域間交流のための各種事業の実施と参加等青少年の健全育成を図りました。

4. 俱知安町社会福祉大会事業 事業精算額：350,908円 助成額：300,000円

「ともに支え合う、安心、安全な福祉のまちづくり」を住民一人ひとりが作り上げていく事を目的に旭山動物園統括園長坂東元氏を講師にお招きし、講演を行いました。

5. 社協広報「社協の窓」発行事業 事業精算額：1,347,164円 助成額：416,811円

社協の行う各種事業、取り組みについて、関係団体や地域住民の活動等を掲載した広報誌を年4回発行しました。

ちょぼら六郷除雪隊 道新ボランティア奨励賞を受賞

8月30日（土）倶知安小学校をメイン会場に開催された北海道社会福祉協議会主催のボランティア愛ランド北海道2025inしりべしに於いて第49回道新ボランティア奨励賞贈呈式が行われました。道内から8つの団体が受賞され、本町からちょぼら六郷除雪隊がこの度一般奨励賞を受賞されました。

ちょぼら六郷除雪隊は、平成25年に結成され、町内会に在住する高齢者、独居高齢宅の除雪を手助けする活動を通して安全・安心の確保に取り組むことを目的とし、12月から3月において隔週土曜日の午前中に活動をしています。

今後は、これらの取り組みとともに更なる防犯活動や災害時の支援活動の機能を高めていく事を活動目標としています。

また、ボランティア愛ランド北海道2025inしりべしの開催にあたり、全道各地600名余りのご参加のもと倶知安町並びに倶知安町教育委員会からの後援をいただき、盛会裏に終了する事ができました。

町内会や単位老人クラブの会員の皆様をはじめ、各種団体から多数ご参加並びにご協力いただきました事に心から厚くお礼申し上げます。



贈呈を受ける阿部和則代表



KBOによるアルプホルンの演奏
(オープニングアトラクション)

ボッチャの体験学習を通して俱小5年生との交流

8月21日（木）倶知安町身体障害者福祉協会の会員の他、日頃会員と一緒にボッチャをされている方にもご協力をいただき、倶知安小学校5年生の総合的な学習の時間でボッチャの体験学習を行いました。

この体験学習は、今年2月にも現在の6年生にも行っており、児童と一緒にボッチャを体験しながら交流を図りました。既にボッチャをされた事がある児童も何名かおりましたが、身障者とふれあいながらとても楽しまれている様子で大盛況でした。



会員と交流する児童



体験を終えた後の発表

賑わいを見せる夜カフェ

7月16日（水）第5回目となる『夜カフェ』に13名がご来店されました。

『夜カフェ』は、年5回日中帯の時間に開店するオレンジカフェ「結び場」（認知症カフェ）にお仕事等で来店が難しい方にも来店できるよう適宜お知らせして開店しております。

今回は、動画鑑賞、寸劇、グループワークを行い、その中のグループワークでは、ニセコ羊蹄広域圏知安厚生病院精神神経科高田医師が来店者として各テーブルを回り、初めて来店された方から「自分や周りの人がそうなった時の事を考えて参加してみたけど、どうなったら受診した方がいいのか、相談はどこへ等の話を直接高田先生や他の来店者からの話を聞くことで、最初と帰りでは気持ちが違いました。」との感想が聞かれました。

認知症への興味や関心のある方は、これを機に一度ご来店してみてはいかがでしょうか。



実体験をもとにした寸劇



高田医師からのお話

オリジナルカレーで暑さに負けない夏を

7月16日（水）いただきますの会を開催し、21名が参加されました。

今回は、オリジナルカレーライスを提供し、参加された皆様からは「スパイスが効いていておいしい」、「レシピを教えてほしい」という声が多く聞かれ、会話を交えながら和やかな雰囲気の中で召し上がられておりました。なお、配膳と下膳共に各自で行っていただき、自分で行うことは自分で行うという意識も高められました。

また、食事の提供前に100歳の方の食生活や健康維持の秘訣などの動画視聴を行い、元気で100歳を目指そうという意識を持たれた方も多くいらっしゃったようです。



各自で行った配膳



食後の「ごちそうさま」のご挨拶

道警察本部庁舎を視察

8月5日（火）倶知安町防犯協会では特別研修会を行い、本会役員並びに町内会の防犯担当者と事務局の合計13名が参加し、札幌市の北海道警察本部庁舎等を視察しました。

北海道警察本部庁舎では、各部署の業務内容、防犯への取り組み、防犯防止に関する施策などについて説明を受けた他、防犯カメラや110番通報の受付体制、サイバー犯罪対策等の実情についても具体的に学ぶことができました。

この研修を通して今後の町内会の防犯活動に反映できるよう防犯意識の高揚と地域の安心・安全なまちづくりに繋げていきたいと思ひます。



信号機の点灯体験



道警本部にて

夏を感じながら旭川・富良野方面の視察研修旅行

8月18日（月）～19日（火）倶知安町身体者福祉協議会視察研修旅行を行い、本会会員並びに賛助会員、事務局の合計15名が参加し、旭川市の旭川デザインセンターや北鎮記念館、美瑛町の十勝岳火山砂防防災センター等を視察しました。

1日目は旭川デザインセンターへ向かい、道産のカバ材を使用して実際にスプーンを作成した後に男山酒パークへ向かい、園内の視察を行いました。

2日目は北鎮記念館へ向かい、屯田兵や旧陸軍第七師団の資料を見学した後に十勝岳火山砂防情報センターへ向かい、十勝岳の噴火の記録や火山砂防事業等について学んできました。

また、懇親会では、会員同士の交流を深め、久しぶりの再会に会話も弾まれる等終始楽しい雰囲気となり、全体を通して大変有意義な研修旅行となりました。



ファーム富田にて



旭川デザインセンターでのスプーン作成



十勝岳火山砂防情報センターでの様子

倶知安町社会福祉協議会 会員募集について

社会福祉協議会は地域の皆様に支えられた民間の団体です。皆さまが安心して暮らせる町を目指し地域福祉の推進に取り組んでいます。但知安町社会福祉協議会に御加入いただいた会員様の会費は、地域の皆さまと協力して行っている「地域住民総参加の地域福祉活動」を進める為に活用させていただいております。

今後とも俱知安町社会福祉協議会の活動へ一層のご理解をいただき、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、社会福祉協議会の会員募集について、各町内会・自治会長様はじめ、関係団体の皆様には、ご多忙中のところ社会福祉協議会の活動にご理解をいただき、会員の募集方についてご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

社協会員には3種類あります。

- ①一般世帯及び一般世帯で構成する町内会単位を対象とした一口500円(2口以上)・・・一般会員
②会社・事業所・篤志家を対象とした一口1,000円(3口以上)・・・賛助会員
③福祉施設・関係団体・機関を対象とした一口3,000円・・・特別会員

令和7年度社協会員加入者名簿一覽（敬称略）

個人名については、町内会ごとに希望された場合に掲載させていただきます。

賛助・特別会員の企業、会社や団体など、個人以外につきましては従来通り掲載させていただきます。

◎ 会員の個人情報は、社会福祉協議会の運営並びに事業を円滑に推進するために適切かつ慎重に取り扱い、会員の管理並びに会員募集のために利用させていただきます。

◆一般会員(令和7年7月より令和7年8月まで)

[illegible]

◆特別会員

会 員 名	口数
倶知安町防犯協会	1

全道社協職員研究協議会での実践報告

7月22日(火)札幌市のかでる2・7にて令和7年度全道社協職員協議会が開催され、森下在宅福祉課長が『お互いがつながる支え合い』と題して、本会のサロン活動や支え合いネットワーク事業(有償ボランティア制度)について、実践報告を行いました。

実践報告では、令和3年度にコロナ禍でも町民同士の交流を目的に全町サロンを開催し、翌年度も不定期ではあったが開催したこと、これらの参加者の中から人材を発掘し、令和6年度から開始した支え合いネットワーク事業のボランティア(サポート会員)として登録していただき、住民相互の活動として、生活支援を必要とする会員(レシーブ会員)とをマッチングさせてゴミ出しや除雪等のサービスを提供している事をご報告させていただきました。



なお、前号の社協の窓でも、本事業のボランティア募集について掲載しておりますが、引き続き各種相談、お申込みにつきましては、社会福祉協議会(TEL22-4150 担当:森下)までご連絡ください。



ご寄付ありがとうございます

ご寄付は、それぞれの意志により、恵まれない人や努力しながらも暮らしに困る人々のため、また、地域福祉の発展向上のため活用されます。

●社会福祉事業資金は、各種社会福祉事業の実施、運営のために活用させていただきます。

●ボランティアセンターへのご寄付は、次のようになっています。

- ・指定寄付…福祉施設や団体等への使用目的を指定するご寄付は本会でもお受けしています。本会が責任をもって指定された施設・団体等へお届けいたします。
- ・物 品…未使用の肌着や衣類、家電などの日用品は、努力しながらも恵まれない方々に配分しています。年末に行っている歳末物資配分でも活用しています。

金銭のご寄付には、「寄付金控除」が受けられる領収書を発行し、
金銭・物品ともに御礼状を出させていただきます。

次の方々よりご寄付をいただきました。

皆様の温かいご篤志に対して厚くお礼申し上げます。

(令和7年7月より令和7年8月まで・敬称略)

旭 克久 工藤 正勝 菅原 道雄 高山 弘樹
田子美智子 廣谷 尚輝 林 光男 中田 信子
高橋 康子 古川佐貴子 匿名

倶知安パークゴルフ協会

◎社会福祉の推進を図るため、ご寄付をいただいた方の氏名を掲載させていただいております。掲載を希望されない場合はあらかじめお申出下さい。

倶知安社協
Instagram



KUTCHAN_SYAKYO